

投 稿 規 定

1. 投 稿 資 格：(1) 北里医学会会員，(2) 編集委員会から依頼された者，(3) 北里大学医学部教員から推薦され，編集委員会の承認を受けた者。この規定は原則として共著者にも適用する。本誌に投稿した時点で他誌へ投稿していない(取り下げている)ことを条件とする。
2. 著 者 資 格：研究開始から公表に至る過程で，(1) 計画，データ分析，解釈における貢献，(2) 論文の草稿作成または校閲，(3) 出版原稿の最終承認，を満たしていなければならない。この規定は共著者にも適用する。また筆頭著者は1名とする。
3. 利益相反の開示：投稿論文の内容に関し，筆頭者及び責任著者の当該論文に関する利益相反に関する事項について，巻末の利益相反記載様式を用いて開示しなければならない。開示内容は掲載論文の末尾に記載し公表する。利益相反開示事項がない場合は，末尾に「本論文内容に関連する著者の利益相反：なし」の文言を記載する。
4. 原 稿 の 種 類：原著，総説，調査報告，症例報告，短報，論壇，講座，報告，学生論文，CPC報告，レター，書評，各種会合記事，雑報など未発表のものに限る。原稿の内容は，医学，医療学に関連する分野とし，その他の分野の原稿は編集委員会の承認が必要となる。なおCPC報告は「抄録・キーワード・文献(考察)」を追加することによって症例報告(編集委員会が認めた場合には原著)とすることができる。その場合の投稿料は半額とする。
5. 原則として査読は学部内外各1人ずつの査読者により行われる。投稿者は本人の所属機関以外の査読候補者3人以内を推薦することができるが，査読者の決定は編集委員会が行う。
6. 論文の長さ・形式：(1) 用語は日本語を原則とする。
 - (2) 倫理的配慮：ヒトを対象とした研究はヘルシンキ宣言(1964年，第18回WMAにて採択，1989年修正)の精神に基づき行われたもので，所属機関の研究倫理委員会等の承認を受けたものでなければならない。動物を用いた論文は所属機関の動物倫理規定を遵守して動物実験委員会の承認を得たものでなければならない。
 - (3) A4版上下左右に2.5 cm以上の余白をとり，およそ38字×30行(英文要旨はダブルスペース)，11ポイント以上で印刷した原本を含むプリント3部，文書および図表データ(使用したOS・ソフト名を明記し，フロッピーまたはCD-Rに保存する。念のためテキスト変換したデータも添付すること)，チェックリスト，著作権譲渡確認書の4種類を提出する。題名，要旨(和文および英文)，本文，謝辞，参考文献，図の説明，図表の順で印刷し，頁数は下中央余白に表紙，本文，図表も含めすべて連続して印字する。
 - (4) 原稿の本文文字・語数，図表数，抄録，キーワード数，参考文献数の上限は原則下記の通りとする。本文には，表題，要旨が含まれるが，図表とその説明は含まれない。

種 類	本文 (和文)	図表	抄録 (和文)	抄録 (英文)	キーワード	参考文献
原 著	10,000字	15枚	600字	300語	3～5語	30
総 説	10,000字	10枚	300字	200語	3～5語	100
調 査 報 告	10,000字	15枚	600字	300語	3～5語	30
症 例，短 報	8,000字	10枚	300字	200語	3～5語	20
論 壇，講 座 報 告，学 生 論 文	2,000字	5枚	300字	—	3語	30
CPC報告	8,000字	10枚	—	—	—	—
レ タ ー	1,000字	3枚	—	—	—	5
そ の 他	6,000字	10枚	—	—	—	—

- (5) 語と文体：和文原稿は口語体，現代仮名づかいを用い，学術用語は学会制定の医学用語を用い，動植物名，日本語化した外国語は片仮名書とする。

- (6) 略語：正式略語と慣習的に広く用いられている略語を用いてよいが、初出は、完全語の後に（ ）内に略語を記載する。
- (7) 度量衡の単位：長さ、高さ、重さ、容積の測定値はメートル法、もしくは10の整数乗倍で表記する。文末に詳記。
- (8) 文献の番号は引用順に、本文中の引用箇所には肩番号¹、¹²、¹⁴をつける。
- (9) 著作権のある図表などの引用に際して、著作権の取得者や著者から許可を前もって得ておく必要がある。
- (10) 原稿の具体的な書き方：
- ① 表紙：題名、表題名が長い場合には30字以内のheading（欄外見出し）を指定する。著者名、所属機関、部門（学部）、教室名、連絡先の住所、電話番号、ファックス番号、e-mailアドレス
 - ② 要旨：原著、総説、短報、症例報告では和文（原稿の2頁目）および英文要旨（英文標題含む。原稿の3頁目）を記載する。原著論文の要旨は、日本語600字、英語300語で、背景background、方法methods、結果results、結論conclusionsからなる構造化要旨structured abstractとする。調査報告は、日本語600字、英語300語以内の非構造化要旨とする。総説、症例報告、短報は、日本語300字、英語200語以内の非構造化要旨とする。論壇、講座、報告、学生論文は300字以内の日本語非構造化要旨とする。略語はなるべく避ける。
 - ③ 日本語と英語のキーワードをそれぞれ3～5語、要旨の後に記載する。
 - ④ 本文：
 - i) 序文：研究の目的と合理性について述べ、文献の引用は研究の背景として重要なものに留める。
 - ii) 対象と方法：対象、症例、動物、試薬、対照、方法、統計解析法を記載する。薬剤は一般名、化学物質名で記載するが、初出時に商品名は製造所名、都市と共に括弧内に記載できる。
 - iii) 結果：得られた知見を詳細に記載するが、図表で示されたデータを繰り返して記載せず、強調すべき所見のみを記載する。
 - iv) 考察：重要で意味のある所見を述べるが、結果で記述したことを詳しく繰り返すことはしない。既報の結果との比較を行い、本研究で得られた所見について自身の意見を述べる。結果で述べられなかった所見を新たに記載しない。
 - v) 謝辞：実質的に貢献した人、研究助成金などに対して謝辞を述べる。
 - vi) 参考文献：論文に引用された順に番号をつける。雑誌名はCumulated Index Medicusに従って記載する。私信personal communicationsおよび未発表データは引用しない方がよいが、引用する場合は、番号をふらず本文中に括弧して記載し、著者の承諾書を添付する。
- ◎ 雑誌の場合・・・著者名（3名まで記載し4名以後は和文の場合、「他」、英文の場合"et al."、最終発表者の前に"and"をつけない）。表題名。雑誌名 西暦年；巻：最初頁-最終頁（最初頁の同数は省略）。
- (例) 1. Alfa BC, Beta CD, Gamma DE, et al. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
2. Alfa BC, Beta CD, Gamma DE. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
3. Alfa BC, Beta CD. Diuretic drugs in patients with impaired renal function. *Am J Cardiol* 1966; 17: 642-7.
4. 北里太郎, 北島次郎, 志賀三郎, 他. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
5. 北里太郎, 北島次郎, 志賀三郎. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
6. 北里太郎, 北島次郎. 腎機能不全患者における利尿剤. *北里医学* 2003; 33: 89-92.
7. Mizuno K, Böhinger HP, Imamura Y, et al. Fragility of reconstituted type V collagen fibrils with the chain composition of $\alpha 1(V)\alpha 2(V)\alpha 3(V)$ respective of the D-periodic banding pattern. *Connect Tissue Res* 2012 Oct 23. [Epub ahead of print] (in press) doi:10.3109/03008207.2012.734876

◎単行本の場合(編者なし)・・・著者名:書名. 初版以外の場合はその版, 発行所, 発行地名, 出版年, 引用頁.

(例) 1. Alfa BC, Beta CD. *Kidney and renal failure*, 3rd edition. St. Louis: CV Mosby; 1987; 474-93.
2. 北里太郎. 腎不全患者における利尿剤, 第3版, 南江堂, 東京, 1964, p.90.

◎単行本の場合(編者と著者が異なる)・・・著者名:表題名, 書名. 初版以外の場合はその版, 編者, 発行所, 発行地名, 出版年, 引用頁.

(例) 1. Alfa BC, Beta CD. Diuretic drugs in patients with impaired renal function, 3rd edition. In Gamma DE, Delta EF, editors. Volume 8: *Kidney and renal failure*. St. Louis: CV Mosby; 1987; 474-93.
2. 北里太郎. 腎不全患者における利尿剤. 新内科学大系, vol. 4, 治療論II, 北島次郎, 志賀三郎編, 南江堂, 東京, 1964. p.90-8.

◎Webページの場合・・・著者名:表題名. URL. 引用年月日.

(例) 1. 日本救急医学会. 喘ぎ呼吸. URL: <http://www.jaam.jp/html/report/dictionary/word/0912.htm>. 2007/7/11.

⑤図 Figure: グラフ, 図形, 写真, フローチャート, 線画は図に含まれる。図およびその説明文は, 原著, 総説, 症例・短報においては原則として英文とする。図の表題と説明文は図と別の紙にまとめてプリントする。図の番号は本文で引用される順にアラビア数字でふる(例 Figure 1)。本文頁の右欄外に記入し, 挿入位置を指定する。複数の図を組み合わせて1つの図とする場合には, 各図に A, B, C…とアルファベットの大文字 (Times New Roman Bold) で記載する。

図は白黒で, 直接印刷できるものを提出する。棒グラフは2次元画像を用い, 立体画像は使用しない。カラー写真を希望する場合は費用全額を著者負担とする。原図の大きさは18×21 cm以下とし, 図表の台紙の余白に著者名, 図表の番号, 上下を記入する。一つの図は刷り上りの幅が17.5 cm (2コラム分) 以下になる。

線画は, 白黒で適切に印刷され, その他の画像は黒白のコントラストが十分にある光沢のあるプリント (写真あるいは高品質な写真用プリンター紙) で提出されなくてはならない。ポラロイド写真は受け付けない。

⑥電子画像: 画像は, 光沢あるいは高品質な写真用プリンター紙に印刷されたものとする。フロッピー等にデータを添付する場合は, 全ての画像は最小12 cmの大きさで, EPSFファイル, あるいはTIFFファイルで提出する。PhotoshopやIllustratorのようなグラフィックソフトウェアで作図に用いるべきである。Power Point, Corel DrawやHarvard Graphicのようなプレゼンテーションソフトウェア, あるいはMicrosoft Wordのようなワード機能のプログラミングを用いてはならない。白黒, カラーを問わず, 画像解像度は少なくとも350 dpiでなくてはならない。精密な再現を要する画像の場合は, 700 dpiあるいは1400 dpiが必要である。

⑦表 Table: 表は一つずつ別の頁に記入し, 投稿論文の最後に入れる。表および表題は, 英文抄録を付したのものについては原則として英文とする。表題は簡潔にし略語や注は表の脚注に記載する。表の番号は本文で引用される順にアラビア数字でふる(例 Table 1)。本文の右欄外に表番号を記入し, 挿入位置を指定する。

⑧単位の表記について: 次々頁を参照

7. 原稿の採否: 編集委員会で決定する。

8. 校正: 初校のみ著者校正とする。この際, 原則として文章の削除または挿入は許されない。最終校の校正を著者に依頼することもある。

9. 掲載料: 掲載料については別に定める。

10. 原稿送付先: 〒252-0374 相模原市南区北里1-15-1

北里大学医学図書館内 北里医学会事務局 電話 042-778-8711 Fax 042-778-9176
e-mailアドレス ktms@kitasato-u.ac.jp

11. チェックリスト：チェックリストは原稿を投稿する時に記入し提出する。フォームは本誌をコピーするか、インターネット上で取得可能である。

1) 一般的事項

- 投稿に際し、原本を含め原稿のコピー3部と文書および図表データ（使用したOS・ソフト名を明記し、フロッピーまたはCD-Rに保存する。念のためテキスト変換したデータも添付すること）の提出がある。
- 字数：字数は本文で_____字である。
- チェックリストはすべて記入されている。
- 所属機関はヒトに関する研究について倫理審査委員会で承認している。
- 所属機関での倫理審査委員会は研究計画_____に対する承認を_____年_____月_____日に行った。
- 実験材料と方法に記載された施設は実験動物の取り扱いガイドラインに従っている。動物種については表題、抄録、キーワード、材料と方法に記載されている。
- フォントサイズは11またはそれ以上であり、ページの端より2.5センチ以上余白がある。英文の場合は2行間隔でタイプされている。
- 全ページの下部の余白中央に以下の順で番号が付けられている。表題、和文要旨とキーワード、英文要旨とキーワード、序文、対象と方法、結果、考察、謝辞、参考文献、図の説明、図、表。
- すでに発表されている表、図、引用の使用にあたっては、著作権所有者のサイン入りの承諾書と参考文献を原稿に添付している。
- 私信や発表されていないデータについては引用する人からのサイン入りの承諾書を添付している。

2) 著者資格

- カバーレターにて、私/私たちはすべての著者が著者資格に求められている条件を満たしていることを確認している。

3) 利害関係の衝突

- カバーレターにおいて利害関係の衝突を生じさせうる著者または共著者の営利団体との関係がないことが記述されている。

4) 査読者を指名する場合

- 投稿者の所属機関に属さない3名以内の査読者の名前、所属機関、住所、電話・FAX番号、e-mailアドレスが同封されている。

5) 表紙

- 下記のものが順にならんで記載されている。
 - ・ タイトル、著者名、連絡先住所、電話、ファックス番号、e-mailアドレス
 - ・ 所属機関名、学部、教室
 - ・ 別刷を送付するべき著者の名前、住所、電話・ファックス番号、e-mailアドレス
 - ・ 別刷がいない場合は表題にその旨を記載している
- もし連絡先となる著者が別刷を送るべき筆者と異なる場合には、別刷送付先著者の名前、住所、職場と家の電話・ファックス番号、e-mailアドレスが示されている。

6) 要旨とキーワード

- 和文要旨は2頁目に標題、著者の名前、所属の下に書かれている。抄録の下に3から5個のキーワードを記載してある。
- 英文要旨は3頁目に英文標題、著者の名前、所属の下に書かれている。抄録の下に3から5個のキーワードを記載してある。
- 原著論文の場合は、日本語600字、英語300語以内の構造化要旨とする。要旨は背景、方法、結果、結論の4つからなり、それぞれを簡略にまとめられている。
- 総説、症例報告、短報は、日本語300字、英語200語以内の非構造化要旨とする。
- 論壇、講座、報告、学生論文は300字以内の日本語非構造化要旨とする。

7) 参考文献

- 引用された順に並べられている。
- 投稿規定に従って、記載している。
- 私信や出版されていない知見については参考文献として記載せず、テキストのなかで本人の書面での了承をとったことが言及されている。

8) 図

- 本文で引用された順にアラビア数字で番号が付けられている。
- 英文が必要な論文では英語で書かれている。
- 図の説明は図と同じ紙にかかれていない。
- サイズの一貫性は保たれている。
- 図について著者からの要求事項がある場合は詳細に示されている。

9) 図の説明

- 図とは別の紙にまとめて書かれ、順に示されている。
- 英文が必要な論文では英語で書かれている。
- 著作権のある図については原典からの完全な著作権表示が記載されている。

10) 表

- それぞれの表にタイトルとローマ数字が付けられ、本文の中での引用順である。
- 英文が必要な論文では、英語で書かれている。

11) 著作権声明

- 著作権譲渡確認書(次頁)の添付がある。
- 共著者全員の署名または捺印がある。
- 共著者全員へ論文の投稿を知らせるためのe-mailアドレスを記載している。

署名_____

日付： 年 月 日

著作権譲渡確認書

希望掲載区分 (○で囲んで下さい)		原 著	総 説	症 例
		短 報	論 壇	講 座
		報 告	学生論文	レター・その他
標 題	和文			
	英文			
欄外見出し (Running title)				
Key words				
<p>下記にサインをした著者は標記論文のすべての著作権所有を発行にあたり北里医学会に譲渡する。下記にサインをした著者は論文について以下のことを保証する。他の雑誌・紀要等に掲載されていない(予定でない)こと、オリジナルのものであること、第三者のいかなる著作権や所有権を侵害しないこと、他の出版社のもとにないこと、主要な内容、表、図は以前に発表されたものではないこと。この制限は学会、研究会などの抄録やマスコミへの発表には適用されない。</p> <p>著者は最終論文を確認し、読み、そしてそれぞれの著者の貢献は担当著者により承認されている。</p>				
著者名・所属 (e-mailアドレス)			署名あるいは捺印	
筆頭著者	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 1	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 2	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 3	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 4	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 5	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 6	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 7	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 8	(e-mailアドレス: _____)			
共著者 9	(e-mailアドレス: _____)			
共著者10	(e-mailアドレス: _____)			

※共著者は原則として10名以内でお願いします。

論文投稿における利益相反開示事項記載要項

「北里医学」「The Kitasato Medical Journal」に投稿する場合、筆頭著者及び責任著者は前年度1年間における下記の利益相反事項に関して、記載様式により報告しなくてはならない。

- | | |
|-------------|---|
| 1. 所属／身分 | |
| 2. 兼業 | NPO〇〇 理事長(理事長や代表者のみ・報酬の有無は不問)
〇〇社 アドバイザー・社員(契約に基づく有償のもののみ記載) |
| 3. 株式・エクイティ | 発表と関係のある企業株の利益が年間100万円を超える場合
全株式の5%以上を保有する場合
発表と関係のあるベンチャー企業のエクイティ等 |
| 4. 講演料など | 発表と関係のある企業からの収入が年間50万円を超える場合 |
| 5. 原稿料など | 発表と関係のある企業からの収入が年間50万円を超える場合 |
| 6. 寄附金 | 年間200万円を超える場合(公的資金は記載不要) |
| 7. 委受託研究 | 年間200万円を超える場合(公的資金は記載不要) |
| 8. 専門的助言・証言 | 発表と関係のある企業からの収入が年間100万円を超える場合 |
| 9. 寄附講座 | 寄附講座は深刻なCOI状態が生じる可能性が高いことから、所属する教員などは所定の様式に従い申告する必要がある。 |
| 10. その他 | 発表と関係のある企業からの5万円以上の贈答品
上記以外のことで利益相反が懸念される事項 |

記載様式

論文の種類(○で囲んで下さい) 原著 総説 調査報告 症例 その他

論文タイトル _____

著者氏名 ※下記に記入	該当の有無	該当ありの場合：企業名
1. 企業の職員・法人の代表	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
2. 企業等の顧問職	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
3. 株式など	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
4. 講演料など	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
5. 原稿料など	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
6. 寄附金	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
7. 委受託研究(治験等)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
8. 専門的助言・証言	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
9. 寄附講座	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
10. その他	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	

_____年 _____月 _____日

_____署名

「9. 寄附講座」における検討項目

※□はチェック印を入れて下さい。

(1) 研究支援受入先との金銭等利益授受の状況

○寄附先との利益授受はあるか。

□なし □あり ※その理由_____

(2) 公的に承認された資金の獲得状況

○共同研究、受託研究を行っているか。

□なし □あり ※その理由_____

○寄附金を受け入れていないか。

□なし □あり ※その理由_____

(3) 知的財産管理

○研究成果が流出していないか

□なし □あり ※その理由_____

○契約上の研究成果の取り扱いが適切か

○適切な帰属決定がなされているか。

○権利保有が適切であるか。

(4) 金銭授受以外の利便供与

装置、設備、試薬など利便供与はないか。

(5) 学生・教職員との利便関係

(6) 組織との利便関係

(7) 研究支援先以外との研究状況

○寄附先以外と同様な共同研究等を行っているか。

□なし □あり ※その理由_____

○寄附講座開設時の契約等の守秘義務が遵守されているか。

(8) 社会的説明

○寄附講座における研究活動が社会的説明責任を果たせるものか、社会的理解が得られるものか。

○研究成果に対する社会的信頼の確保がなされているか。

(9) 大学の基本方針の確認

○大学の基本方針にマッチしたもののか。

○講座設置の目的に合致するか。

○公的貢献度が高いか。

○寄附講座の受入ルールや大学の基本方針が明確にされているか。

(10) 責務相反状態の考察

(11) 法的違反・学内規則違反への考察

○研究優先、社会貢献優先により学内規則等が無視されていないか。

単位の表記について

『北里医学』の論文に用いる単位の記号は、SI(国際単位系)に則って表記することが望ましい。下記の表は、SIに属さない単位をも含めて、おもだった単位の名称とそれを表す記号とを示す。SIの解説とその使用上の詳細については、島田純一、柏木登、SI(国際単位系)：『北里医学』への導入によせて、北里医学、15(3)号：204～207、1985を参照のこと。

1. 物理量とそれを表す単位の名称・記号

物理量	名称	記号	備考
長さ	メートル	m	
体積	リットル	l	10 ⁻³ m ³ , lではない
質量	キログラム	kg	Kgではない
質量	統一原子質量単位	u	≈1.66057×10 ⁻²⁷ kg
時間	秒	s	secではない
時間	分	min	
時間	時	h	hrではない
時間	日	d	
電流	アンペア	A	
熱力学温度	ケルビン	K	°Kではない
セルシウス温度	セルシウス度	°C	
物質質量	モル	mol	
物質質量	当量	eq	
光度	カンデラ	cd	
平面角	ラジアン	rad	
立体角	ステラジアン	sr	
角度	度	°	(π/180) rad
角度	分	'	(π/10180) rad
角度	秒	"	(π/648000) rad
周波数	ヘルツ	Hz	S ⁻¹
力	ニュートン	N	kg・m・s ⁻¹
圧力	パスカル	Pa	N・m ⁻²
圧力	標準大気圧	atm	101325 Pa
圧力	水柱メートル	mH ₂ O	9806.65 Pa
圧力	慣用水銀柱ミリメートル	mmHg	≈133.322387 Pa
エネルギー	ジュール	J	N・m
エネルギー	電子ボルト	eV	≈1.60219×10 ⁻¹⁹ J
熱量	熱化学カロリー	cal _{th}	4.184 J
工率	ワット	W	J・s ⁻¹
電気量	クーロン	C	A・s
電位・電圧	ボルト	V	J・C ⁻¹
静電容量	ファラド	F	C・V ⁻¹
電気抵抗	オーム	Ω	V・A ⁻¹
コンダクタンス	ジーメンズ	S	A・V ⁻¹
光束	ルーメン	lm	cd・sr
照度	ルクス	lx	lm・m ⁻²
放射能	ベクレル	Bq	s ⁻¹ , (1/60) dpm
放射能	キュリー	Ci	3.7×10 ¹⁰ Bq
吸収線量	グレイ	Gy	J・kg ⁻¹
線量当量	シーベット	Sv	J・kg ⁻¹
照射線量	レントゲン	R	2.58×10 ⁻⁴ C・kg ⁻¹
工率(振幅) レベル差	デシベル	dB	
濃度	モル毎立方デシメートル	M	mol・dm ⁻³
浸透圧濃度	オスモル	osm	
酵素活性	国際酵素単位	IU	(1/60) μmol・s ⁻¹
酵素活性	酵素単位	U	Goldbarg Uなど
コリンエステラーゼ活性		ΔpH	
回転数	回転毎分	r/min	rpmではない

2. SI接頭辞

倍数	名称	記号	倍数	名称	記号
10^3	キロ	k	10^{-3}	ミリ	m
10^6	メガ	M	10^{-6}	マイクロ	μ
10^9	ギガ	G	10^{-9}	ナノ	n
10^{-1}	デシ	d	10^{-12}	ピコ	p
10^{-2}	センチ	c	10^{-15}	フェムト	f